

避難情報の種類と避難行動

災害のおそれがあり、避難が必要となる場合に避難情報を発令します。

危険な場所にいる方は、ご自身やご家族の状況に応じて避難のタイミングを事前に確認し、早めの避難行動を取るようになしてください。

避難先は市が指定する指定避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館などに避難することも考えましょう。

○避難情報の種類

警戒レベル	避難情報	とるべき行動
5	 <p>災害発生又は切迫</p>	<p>緊急安全確保^{※1}</p> <p>命の危険 直ちに安全確保！</p>
<p>～＜警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難＞～</p>		
4	 <p>災害のおそれ高い</p>	<p>避難指示</p> <p>危険な場所から全員避難 (立退き避難又は屋内安全確保^{※2})</p>
3	 <p>災害のおそれあり</p>	<p>高齢者等避難^{※4}</p> <p>危険な場所から 高齢者等^{※3}は避難 (立退き避難又は屋内安全確保^{※2})</p>

※1 災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません

※2 土砂災害と津波は自宅・施設等が外力により倒壊するおそれがあるため、立退き避難をしてください

※3 避難を完了させるのに時間を要する在宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する者

※4 高齢者等以外の人にも必要に応じ、出勤等の外出を控えるなど普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミング

○避難行動

<p style="text-align: center;">立退き避難</p>	<p>自宅・施設等においては命が脅かされるおそれがあることからその場を離れ、災害リスクに対し安全な場所に移動する避難行動</p> <hr/> <p>(1)指定避難場所 (2)安全な親戚・知人宅、ホテル・旅館等の自主的な避難先</p> 
<p style="text-align: center;">屋内安全確保※</p>	<p>ハザードマップ等で自ら自宅・施設等の浸水想定等を確認し、上階への避難や高層階に留まることにより、計画的に身の安全を確保することが可能な場合の避難行動</p> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(垂直避難)</p> <p>(1)浸水しない上階への移動</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(待避)</p> <p>(2)浸水しない上層階に留まる</p>  </div> </div>
<p style="text-align: center;">緊急安全確保</p>	<p>適切なタイミングで避難をしなかった又は急激に災害が切迫する等して避難することができなかったことにより、災害が発生・切迫し、立退き避難を安全にできない可能性がある状況になってしまった時に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点での場所よりも相対的に安全である場所に直ちに移動をする避難行動</p> <hr/> <p>(1)自宅・施設等の少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動したり、近隣の相対的に高く堅牢な建物等に緊急的に移動する。 (2)自宅・施設等の崖から少しでも離れた部屋で待避したり、近隣の堅牢な建物に緊急的に移動する。</p> 

※【少なくとも以下の3つの条件が満たされている必要がある。】

1. 自宅・施設等が家屋倒壊等氾濫想定区域に存していないこと。
2. 自宅・施設等に浸水しない居室があること。
3. 自宅・施設等が一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障(水、食料、薬等の確保が困難になる。電気、ガス、水道、トイレ等が使用できなくなる。)を許容できること